

## Yokohama2020ニュースレター

オンライン形式にて開催されることになった2020横浜国際会議の参加申込み期限が近づいてきました。

プログラムの内容をご覧いただいた方に参加していただけるよう、申込み期限を9月4日（金）（日本時間）に3日間延長しました。参加登録がお済みでない方は、ぜひ、ご登録ください。

■会期 2020年9月8日（火）～22日（火）

■参加申込み（申込み期限：9月4日（金）：9月1日から3日間延長されました）  
一般・学生共通：1万円

<http://yokohama2020.jp/registration.html>

※日本体育学会会員（無料）は学会サイトからの申込みとなりますのでお間違いなきよう、お願いします。

<https://eform.site/yh2020/entry/users/add/jspehss>

■現在の参加登録状況

1547名（一般・体育学会会員あわせて）

■予定されているプログラム **【詳細はHP参照】**

<Opening Performance>（オンデマンド）

日本女子体育大学ダンスプロデュース研究会によるダンス映像作品

国土舘大学空手道部による演武

<基調講演>（オンデマンド予定）

Dr. Marianne Meier, University of Biel

<ICSSPE合同 Yokohama2020特別セッション>

ライブ：9月8日実施予定（詳細情報近日公開）日英同時通訳あり

（後日オンデマンドあり）

<スポンサードシンポジウム> (日本語のみ)

テーマ：スポーツパフォーマンス向上の為のシステムデザイン

<https://sites2.net-convention.com/yokohama2020/>

<テーマ別講演>22題

<テーマ別シンポジウム>21題

<一般発表 (ポスター・口頭) >1059題

<公募シンポジウム>15題

<公開プログラム> (無料の事前登録制)

【プログラム1】 (オンデマンド・英語のみ)

Prof. Dr. Ming-kai CHIN

”Global “Changes” and “New Directions” in Physical Activity and Health: A Little Less Talk and a Lot More Actions”

[https://yokohama2020.jp/jp/public\\_jp.html](https://yokohama2020.jp/jp/public_jp.html)

【プログラム2：組織委員会・日本運動疫学会協力企画】 (日英同時通訳あり)

ライブ 9月9日 (水) 日本時間15:30-17:00 (後日オンデマンドあり)

COVID-19 新常态における持続可能なスポーツ・身体活動促進

Fiona Bull氏 (世界保健機関ヘルスプロモーション部局身体活動部門長)

「世界保健機関 身体活動のための世界行動計画2018-2030」

鈴木大地氏 (スポーツ庁長官)

「Sport in Lifeと日本の現状、今後について」

両氏による対談「スポーツ・身体活動と持続可能な到達目標」

[http://yokohama2020.jp/jp/public\\_jp.html](http://yokohama2020.jp/jp/public_jp.html)

■ 『体育の科学』8月号にYokohama2020に関する特集が組まれています。この会議の歴史・国際的な位置づけ・意義等について、8本の記事が掲載されています。ぜひ、ご覧ください。

<http://shop.kyorin-shoin.co.jp/shopdetail/000000000656/taiiku/page1/recommend/>

\*\*2020横浜スポーツ学術会議に関するお問合せは下記運営事務局までお願いいたします\*\*

-----  
2020横浜スポーツ学術会議運営事務局

TEL: +81-3-3263-8695

E-mail: [yokohama2020-cl@c-linkage.co.jp](mailto:yokohama2020-cl@c-linkage.co.jp)

-----